# Chichester College チチェスターカレッジ英語研修

（イギリス・チチェスター ※ロンドンから電車で 1 時間半）

※公立カレッジ付属英語講座

FINNAIR JAL 航空券込プラン！



## College Information

| | |
|---|---|
| 研修校 | Chichester College |
| 英語授業 | 集中英語コース<br>時間数：週 21 時間 |
| クラス編成 | 1 クラス 16 名以下 |
| 滞在 | 学生寮（1 人部屋、シャワー・トイレ付）<br>※共同キッチン利用可 |
| 食事 | 学生寮内の共同キッチンにて自炊、<br>または、カレッジのカフェテリア利用 |
| 通学 | 徒歩通学<br>※キャンパス敷地内の学生寮に滞在 |
| 施設 | 体育館、室内競技場、ウォールクライミング、テニスコート、フットボール場、図書館、カフェテリア etc. |
| 課外活動＆小旅行 | ≪課外活動の例≫　会話クラブ、学生ユニオンでのソーシャルイブニング、ギター教室、ボーリング、ヨガ、ダンス、ロッククライミング、各種スポーツ　etc. |






## 町を囲む城壁跡、ローマ時代まで遡る長い歴史
## 住み心地の良いイギリスの古都で英語を学ぼう！

チチェスターの語尾につく「～ chester」は、要塞や城を意味するラテン語に由来
紀元前 43 年のローマ人の侵攻から 2000 年に渡る長い歴史を、町の名前が物語っています
穏やかな気候、昔ながらの治安の良いコミュニティ、暮らしやすい手ごろな物価…etc.
この町なら、海外研修が初めてという人も、すぐに溶け込めそう！

### 人口 3 万 5 千人のスモールタウン 公立カレッジのキャンパスで学ぶ

チチェスターは緑美しい、イングランド南部 West Sussex の州都です。町の歴史はローマ時代まで遡ります。ロマネスク調の石畳でできた十字路が市内中心部から放射線状に広がり、町のシンボルにもなっている大聖堂は、数百年の時を経てその美しさを保っています。一歩郊外に出れば、そこは南イングランド地方らしい美しい田園風景が広がります。イギリスで最も大きな民間調査機関が行った過去の調査によれば、イングランドで「住みたい町」の 3 位にチチェスターが選ばれたこともあります。この町の生活環境の良さ（Quality of Life）はイギリス人にとっても大きな魅力であることが伺えます。治安が良く、英語の発音がきれいな地域でもあるので、留学生にも理想的な環境と言えるでしょう。



Chichester College は州政府が運営する公立カレッジで、主として地元地域の若者が社会で活かす様々なスキルを身につけるために学んでいます。カレッジには、年間約 1.5 万人のイギリス人が学んでおり、フルタイムコースの他、パートタイム制による成人教育も盛んです。留学生の受け入れにも積極的で、充実した留学生向けのコースを用意している他、一定レベルの英語力があれば、イギリス人の学生の授業を受講できるコースもあります。英語クラスには、ヨーロッパ、中東、アジア、南米など、世界各国からの学生が集まっています。

### コミュニケーションにフォーカスした 午前中の基本英語クラス

日本出発前に、オンラインによる英語テストを受けます。その結果によって、レベル別のクラスにプレイスメントが行われ、クラスは初級～上級（A1 ～ C2 レベル）に分かれます。
月～金曜日の午前中は 1 日 3 時間（週 15 時間）の基本英語クラスです。1 クラスは約 16 名の編成。文法、語彙、発音、読解、ライティングの各スキルを、コミュニケーションにフォーカスして学びます。

**■時間割のサンプル**

| 9:15-10:45 | 11:00-12:30 | 12:30-13:30 | 13:30-15:00 |
|---|---|---|---|
| Reading<br>Grammar<br>Listening<br>Study Skills | Writing<br>Vocabulary<br>Speaking<br>Presentations | Lunch | Afternoon Options<br>※水曜日はフリー |



### 午後はオプションクラスで 英語スキル、試験対策

午後は英語スキル、試験対策授業から選択し、1 日 1.5 時間（水曜日を除く）、週計 6 時間学びます。

**■ 英語スキル**
午前中に学んだ文法や語彙を発展させ、実際の生活の中で使う英語を念頭に、意見発表やディスカッション、ロールプレイなど応用力を養います。

**■ 試験対策**
ケンブリッジ検定試験、IELTS 試験に向けた対策クラスです。どちらも B1 レベル以上を対象としています。試験対策コースの受講は、コース開始時の英語力と該当レベルの空き状況によります。

IELTS English for International Opportunity　CAMBRIDGE International Examinations



## 放課後は会話クラブやスポーツ 現地学生との交流の機会も

毎週水曜日の午後や、ウィークデーの放課後を利用して、学生ユニオンやカレッジが企画するアクティビティが行われます。中には、カレッジに在籍するイギリス人学生も参加するアクティビティもあります。活動を通して交流を広げてみましょう。








## キャンパス内の学生寮に滞在 1人部屋、シャワー・トイレ付

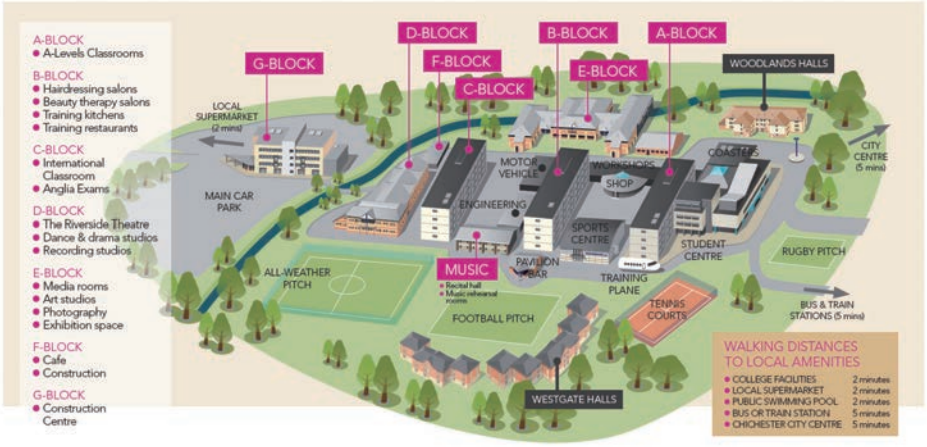
**■寮滞在** ※1人部屋・シャワートイレ付

宿泊はキャンパス内にある学生寮。教室まで徒歩5分ほどの距離の便利なロケーションです。全て一人部屋で、各室にシャワー・トイレが備わっています。6～7室ごとに共有のキッチンがあり、自炊ができる他、カレッジの食堂でも食事ができます。ランドリーの設備、生同志が集うコモンルームもあります。また、寮には管理のスタッフが常駐しているので、困ったことがあれば相談することもOK！










## ■日程・旅行代金（2027年）

### Chichester College 英語研修 ※寮滞在

| 出発日 → 帰国日 | 期間 | 旅行代金 |
|---|---|---|
| Ⓐ 2/6（土）➡ 2/28（日） | 23日間（3週間） | 638,000円 |
| Ⓑ 2/20（土）➡ 3/14（日） | 23日間（3週間） | 658,000円 |
| Ⓒ 2/13（土）➡ 3/15（月） | 31日間（4週間） | 778,000円 |

| Ⓐ Ⓑ | Ⓒ | Ⓐ Ⓑ日程（23日間 ※3週間）※フィンランド航空利用 | Ⓒ日程（31日間 ※4週間）※日本航空利用 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 夜：東京（羽田）発。途中、ヘルシンキ乗継、ロンドンへ。≪機中泊≫ | 深夜（日付は翌日）：東京（羽田）発。直行便でロンドンへ。 ≪機中泊≫ |
| 2 | 2 | 午前：ロンドンヒースロー空港到着。出迎えを受け、専用車にて滞在先へ。 ≪寮滞在≫ | 朝：ロンドンヒースロー空到着。出迎えを受け、専用車にて滞在先へ。 ≪寮滞在≫ |
| 3 ▼ 21 | 3 ▼ 29 | 【英語研修】<br>■第1日目はオリエンテーション。事前のオンラインテストの結果によって、クラス分けが行われます。<br>■授業は週21時間。1クラス最大16名、平均約14名。<br>対象の英語レベル：A2以上<br>■週15時間の基礎英語に加えて、午後「英語スキル」「試験対策」などをいずれか6時間のクラスで合計21時間学びます。<br>■放課後は、カレッジが企画・紹介する課外活動に任意で参加、またはフリー。<br>■土・日曜日は終日フリー。各自にて近郊のブライトンやポーツマス、ロンドンへの訪問など、イギリスの見所への小旅行を楽しみましょう。 ≪寮滞在≫ | |
| 22 | 30 | 朝：専用車でロンドンヒースロー空港へ。各自でチェックイン。<br>午前：ロンドン発、途中ヘルシンキ乗り継ぎ、空路東京へ。≪機中泊≫ | 早朝：専用車でロンドンヒースロー空港へ。各自でチェックイン。<br>午前：ロンドン発、直行便にて空路東京へ。 ≪機中泊≫ |
| 23 | 31 | 午後：東京（成田/羽田）着。 | 朝：東京（羽田）着。 |

**■最小催行人数：**6名
**■添乗員：**なし。現地スタッフがお世話します。
**■利用予定航空会社：**Ⓐ Ⓑ日程：フィンランド航空　Ⓒ日程：日本航空

**【旅行代金に含まれるもの】**
●旅行日程に明示したエコノミークラスの航空運賃 ●到着時・帰国時のロンドンヒースロー空港～滞在先間の往復送迎費 ●旅行日程に明示した授業料 ●寮滞在費（1人部屋・シャワートイレ付・自炊）●無料で参加できる課外活動費 ●24時間日本語ホットライン登録料

**【旅行代金に含まれないもの】**上記以外の全ての費用。その一部を例示します。
●羽田空港施設使用料（2,950円）●国際観光旅客税（3,000円）●海外空港諸税（34,800円）●燃油サーチャージ＆航空保険料（9/1現在の目安：125,200円～140,000円※12月下旬に確定の予定）※上記は旅行代金と一緒にお支払い下さい。
●教材費 ●超過手荷物料金 ●渡航諸手続費用 ●現地での個人的諸費用 ●有料で参加する課外活動費 ●朝昼夕食の食費 ●電子渡航認証ETA申請料£20 ●海外旅行保険費用※ ●現地での個人的諸費用
※このプログラムは海外旅行保険への加入が必須となります。

**※このコースは、宿泊が大変混み合うため、早目のお申込みをおすすめします。**

## 私の好きな街！

### The Cathedral
街のどこからでも見える尖塔

チチェスターのシンボルは旧市街にある大聖堂、町の人々の精神的な中心でもあります。教会の尖塔は町のどこからでも見ることができるので、視界を遮るような高い建物の建築は禁止されています。



### The Cross
東西南北の道路の交差点

旧市街のメインストリートが交差する十字路は「The Cross」と呼ばれる場所。かつてはここで市がたっていたとか。通りにはおしゃれなお店や雑貨店、レストランなどが軒を連ねます。放課後は、周辺のかわいらしいお店で、ショッピングを楽しんでみては？



### Tea or Coffee ?
路地裏のかくれた名店で一服



目抜き通りから一歩路地に入ると有名なティールームがあったりします。ジョージアン様式のタウンハウスで営業するカフェ＆レストランや、12世紀の建物を改築したレストランで、本格的なアフタヌーンティーを味わってみては？ 紅茶だけでなく、意外にも美味しいコーヒー店もたくさんあります。

### Rolls-Royce
セレブご用達車の生産地

ロールスロイス・モーターカーズはチチェスター郊外のグッドウッド工場で車の製造販売をしています。ロールスロイスブランドの車が造られているのは、現在世界でこの一か所だけとか。また、グッドウッドはこの地方の領主の家系の貴族がその広大な私有地を開放して行うモータースポーツイベントでも知られています。



### Chichester Marina
イギリス第2のヨットハーバー



チチェスターを海沿いに進むと、沢山のボートが係留されたヨットハーバーがあります。ソレント海峡や、内陸の運河など、チチェスターはセーリングの拠点となっています。マリーナとしてはイギリス全土で2番目の規模を誇っています。